

傾聴ボランティア通信

野原の歌

ご挨拶

長野県傾聴ボランティア連絡協議会 代表 長谷川 昭



野崎恵子さんに代わり、今度代表になりました「傾聴木曾」の長谷川です。長野県は縦に長く会議を行う時は皆さん大変だと思えます。北信、東信、中信、南信それぞれの各役員が長野県の中央にある松本合同庁舎に集合し、役員会を年間5～6回行うようにしていますが、その分会議の内容が

自然と濃く真剣になっていきます。また県の担当者の方が会議の会場をとってくださり大変助かっています。

さて、これからの長野県傾聴ボランティア連絡協議会は2年目3年目と大変重要になっていくと思えます。どうすれば皆さんの期待に添えるか、また期待に近づけるか、これは出来るがこの案件は無理かもなどと、いろいろな角度から、また外部の方の意見、知恵なども参考にしていながらこの協議会を長く続けていけるように、またグループ会員、個人会員が増えていくようにしていきたいと思っています。まずはできることから実行していきたいと思っています、各地で講座・交流会の開催ができればと考えています。皆さんの御協力を得ながらこの連絡協議会を盛り上げてゆきたいと思っています。御意見などありましたらグループリーダーを通じて役員までお寄せください。

今年度から、長野県傾聴ボランティア連絡協議会の会報誌「野原の歌」を発行することになりました。この会報誌を通じていろいろな意見をだしていただいたり、各地のグループの紹介をしてゆきたいと思っています。各グループ、個人会員同士のパイプができると思えます。

最後にこのような大きな会の代表にさせていただき重圧を感じるとともに責任の重さを感じます。今後ともよろしくお祈りいたします。

今年度役員

代表	長谷川 昭
副代表	太田 久保 昌子
副代表	鬼久保 昌子
書記	弓削 淑子
副書記	小林 記代
監事	片桐 利江
	大渡 敏恵

長野県傾聴ボランティア連絡協議会
第2回総会

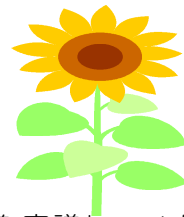
2014年7月9日(水) P.M.1:30～3:30
長野県勤労者福祉センター 第7会議室

松本駅から遠く、暑い日であったにもかかわらず、多くの方のご参加いただきました。
(参加人数：65名)

来賓の皆様には、温かい励ましとお力添えの言葉を頂きました。ありがとうございました。

ご来賓の方々

長野県健康福祉部地域福祉課課長補佐兼地域支援係長 塩原昭夫様
同 福祉人材係 小椋彩子様
長野県社会福祉協議会事務局長 宮本寿郎様
同 地域福祉部 本道久道



議事は、傾聴「みみずく」の木戸さんの議長の下により、1号～5号議案を審議していただき、ご承認いただきました。欠席された会員の方には、総会資料を送付しておりますのでご覧ください。



* 会員からの質問

- 寄付金について
- 連絡協議会参加グループ数・人数
今後、会報等を通じてより詳細なことをお知らせします。

* 会員からの要望

- 基礎講座の開催
各ブロックで主催するものについては、会報でお知らせします。当協議会の主催で研修会をもてるよう、役員会で検討します。

第2回総会 講演会報告

今年度も総会後に、講演会が開催されました。

「認知症の方への寄り添い」という講演を、八田佳子先生にいただきました。先生は、有限会社創生活環境運営専務取締役をする傍ら、長野県認知症介護指導者として、大学や専門学校、また各種講座で講師をされている方です。

前半では、認知症についての基本的な事を教えていただきました。

認知症のメカニズムを知る事により、認知症の方とお話させていただく時に、その方を理解し、その方の今に寄り添う共感的理解が、しやすくなるような気がしました。

後半は、認知症の方とそこそご家族の映像を見せていただき、家族の方の関わり方により、認知症の方が、前向きに日々を生きようとしてゆく事例を紹介していただきました。

誰もが自分の世界感を持っていて、悩んだ時、どうしようもない時、不安という暗い世界に沈むのでし

ゆ。しかしその世界感を理解してもらえた時、不安は少しずつ消え、安心感へと変化するのかもしれませんが。

認知症の方の場合は、私達の世界感とは違う世界にいる場合も多く、認知症という病気を理解したり、その方の生きてきた世界を理解してお話をお聴きするのが、大切な事だと、新ためて気付かされました。

最後には、実際にあった事件を紹介していただきました。

介護で生活に困窮した息子さんが、お母様を殺害したという悲しい事件紹介でしたが、すぐ近くにいる孤独な隣人を支える世の中の仕組みはないのだろうか？と考えさせられました。傾聴ボランティアとして、何か出来る事はないのだろうか？とも考えさせられました。

現代社会は人と人の繋がりが希薄な時代です。少し前の時代では隣近所で、傾聴的な関わりが持っていたのかもしれませんが。もしかしたら、現代社会においては、傾聴ボランティアは、隣のおばちゃんの役割を担えるのかもしれませんが。

最後の、先生への質問では、

「福祉の専門家ではない私達が何を大切に活動したらよいですか？」という問いがあり、

「難しい質問ですね。」とおっしゃられながら、「皆さんが今やられているように共感的に関わってゆくの

が大切なのではないでしょうか？」とのお答えでした。これからの活動の励みになるお言葉をいただき、今後、またそれぞれの場所で良い活動が出来るとよいと思いました。（大鹿ファミリア 小林記代美）



傾聴ボランティア連絡協議会会報「野原の歌」

❖発行予定

季節毎年間3回程度の予定。

❖配布方法

グループリーダーに郵送します。回覧する、コピー印刷するなどメンバー全員がお読みください。

❖連載記事

会員の皆さんのグループ紹介を順次。写真付きなど大歓迎です。代表長谷川よりお願いの連絡を致します。どうぞお引き受けください。次号のグループ紹介は「みみずく」の予定です。

❖情報のお知らせ

講座 研修会 交流会 講演 などお知らせします。

各地の研修会計画などお知らせください。会報の発行が間遠ですので、申込など間に合うように早めにお知らせください。ブロック代表の方は、情報収集をよろしく。

❖会員の皆さんからの要望・質問・意見・感想などの自由な投稿をお待ちしています。

皆さんのお力で「野原の歌」を育ててください。

❖情報・記事の連絡先

会報担当 弓削淑子

TEL 0266-74-1122

FAX 0266-74-1122

☎ 391-0115

諏訪郡原村原山17217-2199

私たちが日頃、傾聴させていただいている方のお話は、懐かしく優しく、野原を吹き渡るそよ風のように。

私達も野原の風のように自然で優しく寄り添いたい。そんな思いから、「野原の歌」と名付けました。

「野原の歌」をどうぞよろしく。



長野県傾聴ボランティア連絡協議会
代表 長谷川 昭 TEL 0264-48-2133
FAX 0264-48-2133